

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/004355

International filing date: 11 March 2005 (11.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-086022
Filing date: 24 March 2004 (24.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 12 May 2005 (12.05.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

16. 3. 2005

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 4 年 3 月 2 4 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 4 - 0 8 6 0 2 2
Application Number:

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号

The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

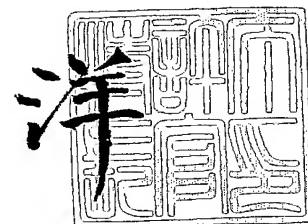
J P 2 0 0 4 - 0 8 6 0 2 2

出 願 人 松下電器産業株式会社
Applicant(s):

2 0 0 5 年 4 月 2 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願
【整理番号】 2037850121
【提出日】 平成16年 3月24日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/60
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 向 浩志
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 中井 勝博
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 平野 雄久
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 手塚 智明
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100081813
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 早瀬 憲一
 【電話番号】 06(6395)3251
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 013527
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9600402

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

試験問題を格納する問題格納手段と、
前記問題格納手段により格納された試験問題を再生する再生手段と、
上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段とを備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の個別試験実施装置において、
前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段を備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の個別試験実施装置において、
当該個別試験実施装置の使用者が保有する個別の番号を入力する個別番号入力手段と、
前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを上記個別番号から生成する順序データ生成手段とを備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、
前記順序指示手段へ動作指示を与える時刻指示手段と、
前記時刻指示手段が作動する時刻データを保持する時刻データ保持手段とを備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、
試験問題の再生に連動した解答入力手段と、
前記解答手段によって生成された解答データを格納する解答格納手段とを備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、
当該個別試験実施装置を作動させる電池の残量を監視する電池残量監視手段と、
前記電池残量監視手段により電池残量が一定レベル以下になると試験問題の進行度情報を格納する進行度格納手段とを備えた、
ことを特徴とする個別試験実施装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の個別試験実施装置を用いた試験方法。

【書類名】明細書

【発明の名称】個別試験実施装置

【技術分野】

【0001】

本発明は、個別試験実施装置に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の、大学入試センター試験におけるリスニングテストは、試験会場の環境の違い、例えば、試験会場での座席位置によって再生される音声の聞こえ方の違い、から生じる不公平性を解消するため、ヘッドホンやイヤホンを接続した個別試験実施装置が用いられている。

【0003】

この技術は、従来の文献として引用すべきものは見当たらなかったが、下記の非特許文献があり、周知の事実となっている。（例えば、非特許文献1参照。）

【非特許文献1】新聞記事 2003年11月6日発行の朝日新聞(朝刊)、29面

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかし、従来の個別試験実施装置では同一試験問題を同一順序、かつ、同一タイミングで解答するため、解答を書き込むマークシート上の解答位置が容易に判断することができ、不正行為がおきやすい。また、試験官の合図により受験者が一斉に個別試験実施装置の再生ボタンを押して試験開始するが、その合図に先立って再生ボタンを押して試験問題が知られてしまうといった不公平性が生じやすい。また、個別試験実施装置の電池残量がなくなると試験が中断し、残りの問題の解答ができなくなるという欠点も有している。

【0005】

本発明は、以上のような問題点を鑑みてなされたものであり、個別試験実施装置を用いた試験に関し、不正行為を防止することができ、電池残量による試験中断の影響がない個別試験実施装置および該個別試験実施装置を用いた試験方法を提供することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載の個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段と、前記問題格納手段により格納された試験問題を再生する再生手段と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段とを備えた、ことを特徴とするものである。

【0007】

また、本発明の請求項2に記載の個別試験実施装置は、請求項1に記載の個別試験実施装置において、前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段を備えた、ことを特徴とするものである。

【0008】

また、本発明の請求項3に記載の個別試験実施装置は、請求項1に記載の個別試験実施装置において、当該個別試験実施装置の使用者が保有する個別の番号を入力する個別番号入力手段と、前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを上記個別番号から生成する順序データ生成手段とを備えた、ことを特徴とするものである。

【0009】

また、本発明の請求項4に記載の個別試験実施装置は、請求項1から請求項3のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、前記順序指示手段へ動作指示を与える時刻指示手段と、前記時刻指示手段が作動する時刻データを保持する時刻データ保持手段とを備えた、ことを特徴とするものである。

【0010】

また、本発明の請求項 5 に記載の個別試験実施装置は、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、試験問題の再生に連動した解答入力手段と、前記解答手段によって生成された解答データを格納する解答格納手段とを備えた、ことを特徴とするものである。

【0011】

また、本発明の請求項 6 に記載の個別試験実施装置は、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、当該個別試験実施装置を作動させる電池の残量を監視する電池残量監視手段と、前記電池残量監視手段により電池残量が一定レベル以下になると試験問題の進行度情報を格納する進行度格納手段とを備えた、ことを特徴とするものである。

【0012】

また、本発明の請求項 7 に記載の個別試験実施方法は、請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の個別試験実施装置を用いた、ことを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0013】

本発明の請求項 1 に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段と、前記問題格納手段により格納された試験問題を再生する再生手段と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段とを備えたので、試験問題を一定の順序で再生することが可能となる効果がある。

【0014】

また、本発明の請求項 2 に係る個別試験実施装置は、請求項 1 に記載の個別試験実施装置において、前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段を備えたので、再生される試験問題の順序を入れ替えることが可能となる効果がある。

【0015】

また、本発明の請求項 3 に係る個別試験実施装置は、請求項 1 に記載の個別試験実施装置において、当該個別試験実施装置の使用者が保有する個別の番号を入力する個別番号入力手段と、前記順序指示手段へ与える再生順序指示データを上記個別番号から生成する順序データ生成手段とを備えたので、上記個別番号を基準に試験問題が再生される個別番号入力型個別試験実施装置を提供することが可能となる効果がある。

【0016】

また、本発明の請求項 4 に係る個別試験実施装置は、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、前記順序指示手段へ動作指示を与える時刻指示手段と、前記時刻指示手段が作動する時刻データを保持する時刻データ保持手段とを備えたので、予定された時刻に試験問題が自動的に再生される、試験問題自動再生型個別試験実施装置を提供することができる効果がある。

【0017】

また、本発明の請求項 5 に係る個別試験実施装置は、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、試験問題の再生に連動した解答入力手段と、前記解答手段によって生成された解答データを格納する解答格納手段とを備えたので、試験問題に対する解答を直接入力する、解答入力型個別試験実施装置を提供することができる効果がある。

【0018】

また、本発明の請求項 6 に係る個別試験実施装置は、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の個別試験実施装置であって、当該個別試験実施装置を作動させる電池の残量を監視する電池残量監視手段と、前記電池残量監視手段により電池残量が一定レベル以下になると試験問題の進行度情報を格納する進行度格納手段とを備えたので、電池の残量を監視する、電池残量監視型個別試験実施装置を提供することができる効果がある。

【0019】

また、本発明の請求項 7 に係る個別試験実施方法は、請求項 1 から請求項 6 のいずれか

に記載の個別試験実施装置を用いたので、不正行為を防止する効果がある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0020】

以下、本発明の各実施の形態を、図面を参照しながら説明する。

(実施の形態1)

先ず、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置の構成について、図1と図4の各図を参照して説明する。図1は、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置のブロック図であり、図4(a)は、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置の上面部であり、図4(b)は、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置の背面部であり、図4(c)は、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置の背面部の電池ボックス蓋を外した状態図である。

【0021】

図1に示すように、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置は、順序データ保持手段12と、順序指示手段13と、問題格納手段14と、再生手段15とを備え、順序指示手段13に再生ボタン16が、再生手段15にヘッドホン17がそれぞれ接続されている。

【0022】

また、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、図4(a)、図4(b)、図4(c)の各図に示すように、主として再生ボタン16aと、表示装置19と、音量設定ボタン20と、モード設定スイッチ22とによって構成され、当該個別試験実施装置には、メモ리카ード18が挿着され、ヘッドホン17が接続されている。

【0023】

問題格納手段14は試験問題を格納するものであり、本発明の実施の形態1に係る個別試験実施装置内に試験問題を格納する。順序データ保持手段12は、試験問題の再生順序を示すデータ(以下、順序データという。)が保持される。順序指示手段13は、問題格納手段14に格納されている試験問題を読み出すものであり、上記順序データに従って試験問題を読み出す。再生手段15は、問題格納手段14に格納されている試験問題をヘッドホン17に出力させる。

【0024】

メモ리카ード18は、試験問題が格納され、かつ、該試験問題の再生順序である順序データが保持される。すなわち、メモ리카ード18が、前記問題格納手段14および前記順序データ保持手段12に対応する。

【0025】

モード設定スイッチ22は、メモ리카ード18に格納された何れの順序データを用いるかを設定するものであり、試験実施時の通常モードと、試験問題の順序を設定する順序設定モードとを備える。当該モード設定スイッチ22をプラスモード22aにすると順序設定モードとなり、試験問題の順序を設定することができ、プラスモード22aに対するマイナスモードにすることで通常モードとなる。当該設定スイッチ22は、電池ボックス21a内に配置される。

【0026】

前記音量設定ボタン20は、順序データを切り替えるものであり、プラスボタン20aとマイナスボタン20bとを備え、前記モード設定スイッチ22を順序設定モードとした後に、当該音量設定ボタン20のプラスボタン20aを押すことにより順序データの設定番号が増加し、マイナスボタン20bを押すことで順序データの設定番号が減少して試験問題の順序データを切り替える。該設定番号は表示装置19に表示され、順序データの切り替え作業を容易にする。すなわち、モード設定スイッチ22と音量設定ボタン20とが、前記順序指示手段13に対応する。

【0027】

再生ボタン16aは、試験問題を再生させるものであり、1回押すと試験問題が再生され、もう1回押すと停止状態となる。再生された試験問題はヘッドホン17にて聞くこと

ができる。すなわち、再生ボタン 16 a が、前記再生手段 15 に対応する。

【0028】

上記のように構成された本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の動作について、図 2 と図 4 の各図を参照して説明する。図 2 は、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の順序データの 1 例を示す。

【0029】

試験の実施に先立ち、図 2 に示すように、第 1 問から第 6 問までの試験問題をメモリカード 18 に格納するとともに、第 1 問から第 6 問までの問題を適切に並べた設定 1 から設定 4 までの 4 ケースを設定した順序データをメモリカード 18 に保持させる。

【0030】

試験問題が格納され、順序データが保持されたメモリカード 18 を、本実施の形態 1 に係る個別試験実施装置に挿着し、図 4 (b)、図 4 (c) の各図に示すように、電池ボックス蓋 21 を固定しているネジ 21 b を緩めて電池ボックス蓋 21 を外し、電池ボックス 21 a 内に配置されているモード設定スイッチ 22 を順序設定モードとする。音量ボタン 20 のプラスボタン 20 a もしくはマイナスボタン 20 b のいずれかを押し、メモリカード 18 に記憶させた順序データを読み出し、表示装置 19 に表示された順序データを確認しながら、試験問題の再生順序を設定する。試験問題の再生順序の設定終了後に、モード設定スイッチ 22 を、通常モードに戻し、ネジ 21 b を用いて電池ボックス蓋 21 を電池ボックス 21 a に取付ける。電池ボックス蓋 21 をネジ止めすることで、受験生が勝手に、試験問題の再生順序を変える行為を防止する。

【0031】

試験の実施時は、再生ボタン 16 を 1 回押すと、順序指示手段 13 が、メモリカード 18 に保持されている順序データを基準に、メモリカードに格納されている試験問題データを読み出し、読み出された試験問題データは再生手段 15 に送られて再生され、試験問題がヘッドホン 17 から音声として出力される。さらにもう 1 回、再生ボタン 16 を押すと停止状態となる。

【0032】

本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置は、次に述べるようにして用いられる。図 3 は、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の試験会場の座席位置と個別試験実施装置の配列例であり、図 2 に示す試験問題および該試験問題の再生順序が設定された本実施の形態 1 に係る個別試験実施装置を、図 3 に示すように、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なるよう試験会場に配置する。これにより試験が実施できる状態となる。

【0033】

以上のように、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段 14 と、問題格納手段 14 により格納された試験問題を再生する再生手段 15 と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段 13 と、順序指示手段 13 へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段 12 とを備えたので、個別試験実施装置 11 ごとに試験問題の再生順序を容易に設定することが可能となる。

【0034】

また、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置を用いた試験方法により、公平な試験を実施することが可能となる。

【0035】

なお、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の順序データ、及び試験問題の数量、並びに試験会場の座席位置は、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なればよく、順序データおよび試験問題の数量は図 2 に、座席位置は図 3 にそれぞれ限定されるものではない。

【0036】

また、本発明の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、試験問題を格納し、該試験問題を予め設定された再生順序で再生し、該再生順序を保持することがで

できればよく、本実施の形態 1 に限定されるものではない。

【0037】

(実施の形態 2)

本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置に、該個別試験実施装置の使用者が個別に保有する個別番号を入力し、該個別番号を基準に試験問題が再生される個別番号入力機能を付加した、個別番号入力型個別試験実施装置であり、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と同じまたは同等の機能を有するものについては同符号を記し、詳細な説明は省略する。

【0038】

先ず、本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置の構成について、図 5 と図 6 の各図を参照して説明する。図 5 は、本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置のブロック図であり、図 6 は、本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置の上面部を示す図である。

【0039】

本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置は、図 5 に示すように、個別番号入力生成手段 23 と、順序データ生成手段 24 と、順序指示手段 13 と、問題格納手段 14 と、再生手段 15 とを備え、順序指示手段 13 に再生ボタン 16 が、再生手段 15 にヘッドホン 17 がそれぞれ接続されている。

【0040】

また、本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、図 6 に示すように、主として再生ボタン 16a と、表示装置 19 と、音量設定ボタン 20 と、受験番号入力ボタン 25 とによって構成され、当該個別試験実施装置には、メモ리카ード 18 が挿着され、ヘッドホン 17 が接続されている。

【0041】

したがって、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と異なる、個別番号入力手段 23 と、順序データ生成手段 24 と、受験番号入力ボタン 25 とについて説明する。

【0042】

個別番号入力手段 23 は、個別番号を入力するものであり、問題格納手段 14 に格納されている何れの試験問題を読み出すかを設定する個別番号、例えば受験番号、を入力する。

【0043】

順序データ生成手段 24 は、順序データを生成するものであり、個別番号入力手段 23 にて入力された受験番号を基準に試験問題の再生順序を設定する順序データを生成する。

【0044】

受験番号入力ボタン 25 は、入力ボタン 25a と、決定ボタン 25b と、消去ボタン 25c と、0 から 9 までの数字を入力する数字ボタン 25d とを備え、入力ボタン 25a を押した後、数字ボタン 25d を押して受験番号を入力する。受験番号は表示装置 19 に出力されるので入力した受験番号を目視にて確認することができる。受験番号を入力した後に、決定ボタン 25b を押すと受験番号が決定されて該受験番号に応じた試験問題の再生順序が設定される。消去ボタン 25c は、容易に受験番号の訂正が行えるようにしたものであり、誤って入力した数字を消去することができる。すなわち、受験番号入力ボタン 25 が、前記個別番号入力手段 23 に対応する。

【0045】

上記のように構成された本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置の動作について説明する。試験の実施に先立ち、試験問題が格納されたメモ리카ード 18 を、上述の実施の形態 1 に係る個別試験装置と同様に、本発明の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置に挿着する。試験の実施時は、受験番号が入力されると、該受験番号を基準に、順序データ生成手段 24 が順序データを生成して試験問題の再生順序が決定し、試験問題を再生させる準備が完了する。そして、再生ボタン 16a を押すと、試験問題がヘッドホン 17 から出力される。再生ボタン 16a をもう 1 回押すと停止状態となる。

【0046】

本発明の実施の形態2に係る個別試験実施装置は、次に述べるようにして用いられる。試験問題が設定された本実施の形態2に係る個別試験実施装置を、上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置と同様に、試験会場に配置する。これにより試験が実施できる状態となる。

【0047】

以上のように、本発明の実施の形態2に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段14と、問題格納手段14により格納された試験問題を再生する再生手段15と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段13と、順序指示手段13へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段12と、受験番号を入力する個別番号入力手段23と、順序指示手段13へ与える再生順序指示データを上記受験番号から生成する順序データ生成手段24とを備えたので、受験番号を基準に試験問題の再生順序を設定することが可能となる。

【0048】

また、本発明の実施の形態2に係る個別試験実施装置を用いた試験方法により、受験番号を基準に試験問題の再生順序が設定される試験を実施することが可能となる。

【0049】

なお、本発明の実施の形態2に係る個別試験実施装置の順序データ、及び試験問題の数量、並びに試験会場の座席位置は、受験番号に応じて、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なればよく、順序データおよび試験問題の数量は図2に、座席位置は図3にそれぞれ限定されるものではない。

【0050】

また、本発明の実施の形態2に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、試験問題を格納し、該試験問題を、個別入力された受験番号を基準として予め設定された再生順序で再生し、該再生順序を保持することができればよく、本実施の形態2に限定されるものではない。

【0051】**(実施の形態3)**

本発明の実施の形態3に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置に、一定の時刻になると試験問題を自動的に再生する試験問題自動再生機能を付加した、試験問題自動再生型個別試験実施装置であり、上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置と同じまたは同等の機能を有するものについては同符号を記し、詳細な説明は省略する。

【0052】

先ず、本発明の実施の形態3に係る個別試験実施装置の構成について、図7を参照して説明する。図7は、本発明の実施の形態3に係る個別試験実施装置のブロック図であり、図に示すように、本発明の実施の形態3に係る個別試験実施装置は、順序データ保持手段12と、順序指示手段13と、問題格納手段14と、再生手段15と、時刻データ保持手段26と、時刻指示手段27とを備え、再生手段15にヘッドホン17が接続されている。したがって、上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置と異なる、時刻データ保持手段26および時刻指示手段27について説明する。

【0053】

時刻データ保持手段26は、試験の開始時刻を設定し、該試験開始時刻を保持させるものである。

【0054】

時刻指示手段27は、再生ボタンと同等の機能を有し、時刻データ保持手段26に保持された試験開始時間を読み出し、試験開始時間になると試験問題を自動的に再生させる。

【0055】

上記のように構成された本発明の実施の形態3に係る個別試験実施装置の動作について説明する。試験の実施に先立ち、上述の実施の形態1に係る個別試験装置と同様に、試験

問題が格納され、順序データが保持され、かつ、時刻データ保持手段 26 により試験開始時刻が保持されたメモリカード 18 を本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置に挿着する。試験の実施時は、時刻指示手段 27 が、時刻データ保持手段 26 に保持された試験開始時刻を読み出し、設定された試験開始時間になると、自動的に試験問題がヘッドホン 17 から音声として出力される。

【0056】

本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置は、次に述べるようにして用いられる。上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と同様に、試験問題と、該試験問題の再生順序と試験開始時刻とが設定された本実施の形態 3 に係る個別試験実施装置を、図 3 に示すように、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なるよう試験会場に配置する。これにより試験が実施できる状態となる。

【0057】

以上のように、本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段 14 と、問題格納手段 14 により格納された試験問題を再生する再生手段 15 と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段 13 と、順序指示手段 13 へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段 12 と、前記順序指示手段へ動作指示を与える時刻指示手段 27 と、時刻指示手段 27 が作動する時刻データを保持する時刻データ保持手段 26 とを備えたので、試験開始時刻になると一斉に試験を開始することが可能となる。

【0058】

また、本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置を用いた試験方法により、試験問題の先聞きを防止することが可能となる。

【0059】

なお、本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置の順序データ、及び試験問題の数量、並びに試験会場の座席位置は、各座席位置での試験問題の再生順序がその座席位置の近隣周辺と異なればよく、順序データおよび試験問題の数量は図 2 に、座席位置は図 3 にそれぞれ限定されるものではない。

【0060】

また、本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、試験問題を格納し、該試験問題を予め設定された試験開始時刻および再生順序を基準に再生し、該試験開始時刻および再生順序を保持することができればよく、本実施の形態 3 に限定されるものではない。

【0061】

また、本発明の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置が有する個別番号入力機能を組み込むこともでき、本実施の形態 3 に限定されるものではない。

【0062】

(実施の形態 4)

本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置に、該個別試験実施装置の使用者が、該個別試験実施装置から再生される試験問題に対する解答を、該個別試験実施装置に直接入力する解答入力機能を付加した、解答入力型個別試験実施装置であり、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と同じまたは同等の機能を有するものについては同符号を記し、詳細な説明は省略する。

【0063】

先ず、本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置の構成について、図 8 と図 9 の各図を参照して説明する。図 8 は、本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置のブロック図であり、図 9 は、本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置の上面部を示す図である。

【0064】

本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置は、図 8 に示すように、順序データ保持

手段12と、順序指示手段13と、問題格納手段14と、再生手段15と、解答入力手段28と、解答格納手段29とを備え、順序指示手段13に再生ボタン16が、再生手段15にヘッドホン17がそれぞれ接続されている。

【0065】

また、本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、図9に示すように、主として再生ボタン16aと、表示装置19と、音量設定ボタン20と、解答入力ボタン30とによって構成され、当該個別試験実施装置には、メモ리카ード18が挿着され、ヘッドホン17が接続されている。

【0066】

したがって、上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置と異なる、解答入力手段28と、解答格納手段29と、解答入力ボタン30とについて説明する。

解答入力手段28は、試験問題に対する解答を入力する機能を有する。

解答格納手段29は、解答入力手段28で入力された試験問題の解答を格納させるものである。

【0067】

解答入力ボタン30は、確定ボタン30aと、取消ボタン30bと、AからDまでの英字を入力する英字ボタン30cとを備え、英字ボタン30cを押して解答を入力する。解答は表示装置19に表示されるので入力した解答を確認することができる。解答入力後、確定ボタン30aを押すと解答が決定する。取消ボタン30bは、誤って入力した解答を消去し、容易に解答の訂正が行えるようにしたものである。すなわち、解答入力ボタン30は、前記解答入力手段28に対応する。

【0068】

上記のように構成された本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置の動作について説明する。試験の実施に先立ち、上述の実施の形態1に係る個別試験装置と同様に、試験問題が格納され、かつ、順序データが保持されたメモ리카ード18を本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置に挿着する。試験の実施時は、再生ボタン16を1回押すと、試験問題がヘッドホン17から出力される。もう1回、再生ボタン16を押すと停止状態となる。試験問題の再生と並行して、該試験問題に対する解答を、解答入力手段28、すなわち解答入力ボタン30により本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置に入力する。そして、入力された解答は解答格納手段29、すなわちメモ리카ード18に格納される。

【0069】

本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置は、次に述べるようにして用いられる。上述の実施の形態1に係る個別試験実施装置と同様に、試験問題と、該試験問題の再生順序とが設定された本実施の形態4に係る個別試験実施装置を、図3に示すように、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なるよう試験会場に配置する。これにより試験が実施できる状態となる。

【0070】

以上のように、本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段14と、問題格納手段14により格納された試験問題を再生する再生手段15と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段13と、順序指示手段13へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段12と、試験問題の再生に連動した解答入力手段28と、解答入力手段28によって生成された解答データを格納する解答格納手段29とを備えたので、試験実施中に他人のマークシートを見るといった不正行為を防ぐことが可能となる。

【0071】

また、本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置を用いた試験方法により、解答用紙を用いなくて試験を実施することが可能となる。

【0072】

なお、本発明の実施の形態4に係る個別試験実施装置の順序データ、及び試験問題の数

量、並びに試験会場の座席位置は、各座席位置での試験問題の再生順序がその座席位置の近隣周辺と異なればよく、順序データおよび試験問題の数量は図 2 に、座席位置は図 3 にそれぞれ限定されるものではない。

【0073】

また、本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、試験問題を格納し、該試験問題を再生する順序を保持し、該再生順序を基準に試験問題が再生され、その再生された試験問題に対する解答を入力し、その入力された解答を保持することができればよく、本実施の形態 4 に限定されるものではない。

【0074】

また、本発明の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置が有する個別番号入力機能、もしくは、上述の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置が有する試験問題自動再生機能の組み込み、又はそれらを組み合わせて組み込むこともでき、本実施の形態 4 に限定されるものではない。

【0075】

(実施の形態 5)

本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置に電池の残量が監視できる電池残量監視機能を付加した、電池残量監視型個別試験実施装置であり、上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と同じまたは同等の機能を有するものについては同符号を記し、詳細な説明は省略する。

【0076】

先ず、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置の構成について、図 10 を参照して説明する。図 10 は、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置のブロック図であり、図に示すように、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置は、順序データ保持手段 12 と、順序指示手段 13 と、問題格納手段 14 と、再生手段 15 と、電池残量監視手段 31 と、進行度格納手段 32 とを備え、順序指示手段 13 に再生ボタン 16 が、再生手段 15 にヘッドホン 17 が、電池残量監視手段 31 に警告ランプ 33 がそれぞれ接続されている。したがって、上述の実施の形態 1 と異なる、電池残量監視手段 31 および進行度格納手段 32 について説明する。

【0077】

電池残量監視手段 31 は、電池の残量を監視するものであり、当該実施の形態 5 に係る個別試験実施装置を継続して使用困難な電池残量である時、警告ランプ 33 を点灯させる。

【0078】

進行度格納手段 32 は、解答された試験問題の解答位置を格納するものであり、電池残量監視手段 31 が試験問題の継続が困難な電池残量であると判断した時、その時点での試験問題解答位置を当該進行度格納手段 32 に格納し、試験問題の進行を停止させる。

【0079】

上記のように構成された本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置の動作について説明する。試験の実施に先立ち、上述の実施の形態 1 に係る個別試験装置と同様に、試験問題が格納され、かつ、順序データが保持されたメモリカード 18 を本実施の形態 5 に係る個別試験実施装置に挿着する。試験の実施時は、再生ボタン 16 を押すと、試験問題データが再生されて試験問題がヘッドホン 17 から出力される。試験問題の再生と同時に、電池残量監視手段 31 は電池残量の監視を始め、電池の残量が試験を継続して解答するのが困難と判断した時、入力された試験問題解答位置を進行度格納手段 32、すなわちメモリカード 18、に格納した後、警告ランプ 33 を点灯させて試験を一時的に中止させる。

【0080】

本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置は、次に述べるようにして用いられる。上述の実施の形態 1 に係る個別試験実施装置と同様に、試験問題と、該試験問題の再生順序とが設定された本実施の形態 5 に係る個別試験実施装置を、図 3 に示すように、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なるよう試験会場に配置す

る。これにより試験が実施できる状態となる。試験の実施時は、試験問題の再生と同時に電池残量監視手段 31 が作動し、警告ランプ 33 が点灯した場合、試験官は、警告ランプ 33 が点灯している座席位置の受験生を別室に連れて行き、電池の交換後、進行度格納手段 32 に格納された試験問題解答位置から試験を継続させる。

【0081】

以上のように、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置は、試験問題を格納する問題格納手段 14 と、問題格納手段 14 により格納された試験問題を再生する再生手段 15 と、上記試験問題の再生順序を指示する順序指示手段 13 と、順序指示手段 13 へ与える再生順序指示データを保持させる順序データ保持手段 12 と、電池の残量を監視する電池残量監視手段 31 と、電池残量が一定レベル以下になると試験問題の進行度情報を格納する進行度格納手段 32 とを備えたので、中断した位置から試験の続行が可能となる。

【0082】

また、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置を用いた試験方法により、試験の実施に先立って電池の残量を監視することが可能となる。

【0083】

なお、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置の順序データ、及び試験問題の数量、並びに試験会場の座席位置は、各座席位置での試験問題の再生順序がその各座席位置の近隣周辺と異なればよく、順序データおよび試験問題の数量は図 2 に、座席位置は図 3 にそれぞれ限定されるものではない。

【0084】

また、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置のより詳細な構成は、試験問題を格納し、該試験問題の順序データを保持し、該順序データを基準に試験問題が再生され、その試験問題の再生と並行して電池の残量を監視し、その監視結果により試験進行情報を格納して試験を一時的に中断することができればよく、本実施の形態 5 に限定されるものではない。

【0085】

また、本発明の実施の形態 5 に係る個別試験実施装置は、上述の実施の形態 2 に係る個別試験実施装置が有する個別番号入力機能、もしくは、上述の実施の形態 3 に係る個別試験実施装置が有する試験問題自動再生機能、もしくは、上述の実施の形態 4 に係る個別試験実施装置が有する解答入力機能の組み込み、又はそれらを組み合わせて組み込むこともでき、本実施の形態 5 に限定されるものではない。

【産業上の利用可能性】

【0086】

本発明に係る個別試験実施装置は、情報記録再生機能を有し、試験問題の再生等に有用である。また、ペーパレスとすることができ、環境を配慮した個別試験実施装置として有用である。

【図面の簡単な説明】

【0087】

【図 1】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置のブロック図を示す。

【図 2】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の順序データの 1 例を示す。

【図 3】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の試験会場の座席位置と個別試験実施装置の配列例を示す。

【図 4 (a)】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の上面部を示す。

【図 4 (b)】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の背面部を示す。

【図 4 (c)】 実施の形態 1 に係る個別試験実施装置の背面部の電池ボックス蓋を外した状態を示す。

【図 5】 実施の形態 2 に係る個別試験実施装置のブロック図を示す。

【図 6】 実施の形態 2 に係る個別試験実施装置の上面部を示す。

【図 7】 実施の形態 3 に係る個別試験実施装置のブロック図を示す。

【図 8】 実施の形態 4 に係る個別試験実施装置のブロック図を示す。

【図 9】実施の形態 4 に係る個別試験実施装置の上面部を示す。

【図 10】実施の形態 5 に係る個別試験実施装置のブロック図を示す。

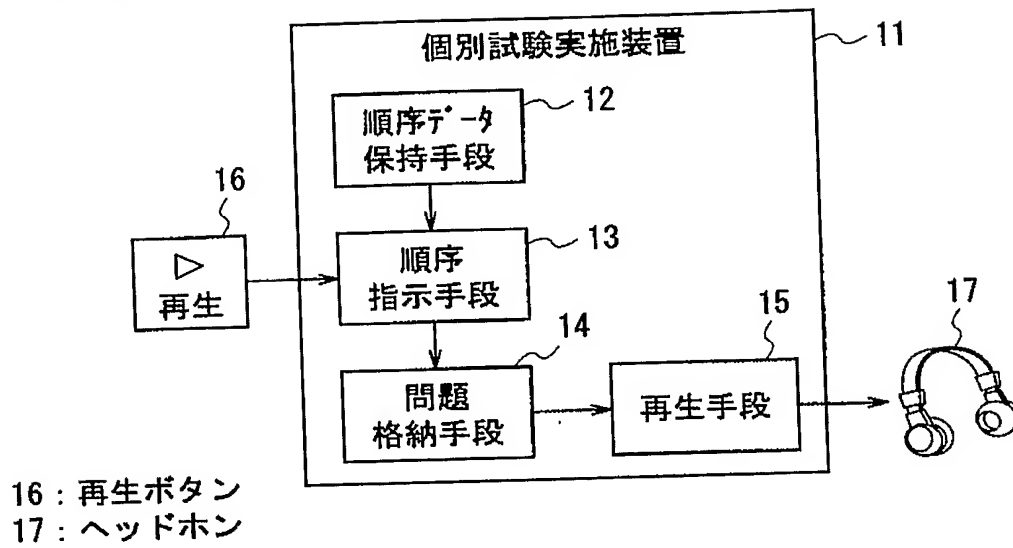
【符号の説明】

【0088】

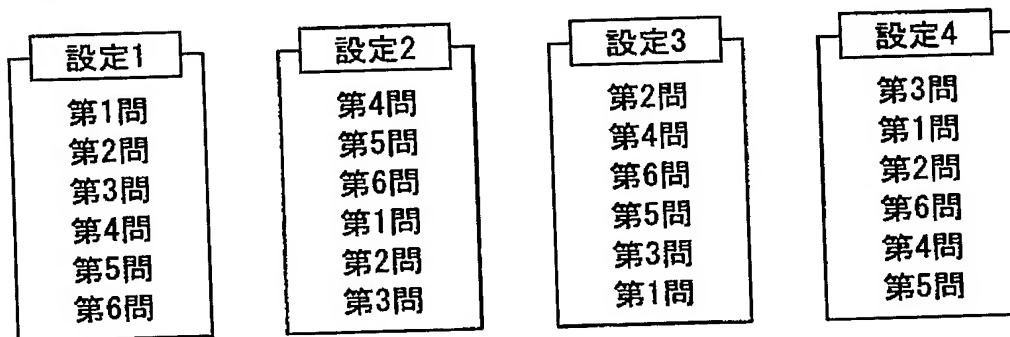
- 1 1 個別試験実施装置
- 1 2 順序データ保持手段
- 1 3 順序指示手段
- 1 4 問題格納手段
- 1 5 再生手段
- 1 6, 1 6 a 再生ボタン
- 1 7 ヘッドホン
- 1 8 メモリカード
- 1 9 表示装置
- 2 0 音量設定ボタン
- 2 0 a プラスボタン
- 2 0 b マイナスボタン
- 2 1 電池ボックス蓋
- 2 1 a 電池ボックス
- 2 2 モード設定スイッチ
- 2 2 a プラスモード
- 2 3 個別番号入力手段
- 2 4 順序データ生成手段
- 2 5 受験番号入力ボタン
- 2 5 a 入力ボタン
- 2 5 b 決定ボタン
- 2 5 c 消去ボタン
- 2 5 d 数字ボタン
- 2 6 時刻データ保持手段
- 2 7 時刻指示手段
- 2 8 解答入力手段
- 2 9 解答格納手段
- 3 0 解答入力ボタン
- 3 0 a 確定ボタン
- 3 0 b 取消ボタン
- 3 0 c 英字ボタン
- 3 1 電池残量監視手段
- 3 2 進行度格納手段
- 3 3 警告ランプ

【書類名】 図面

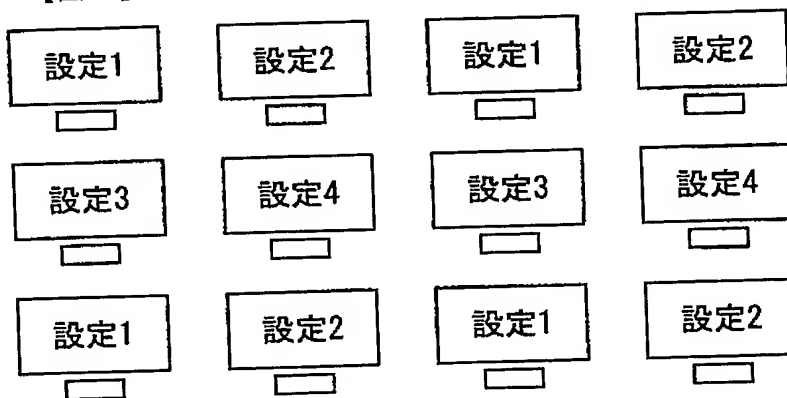
【図 1】



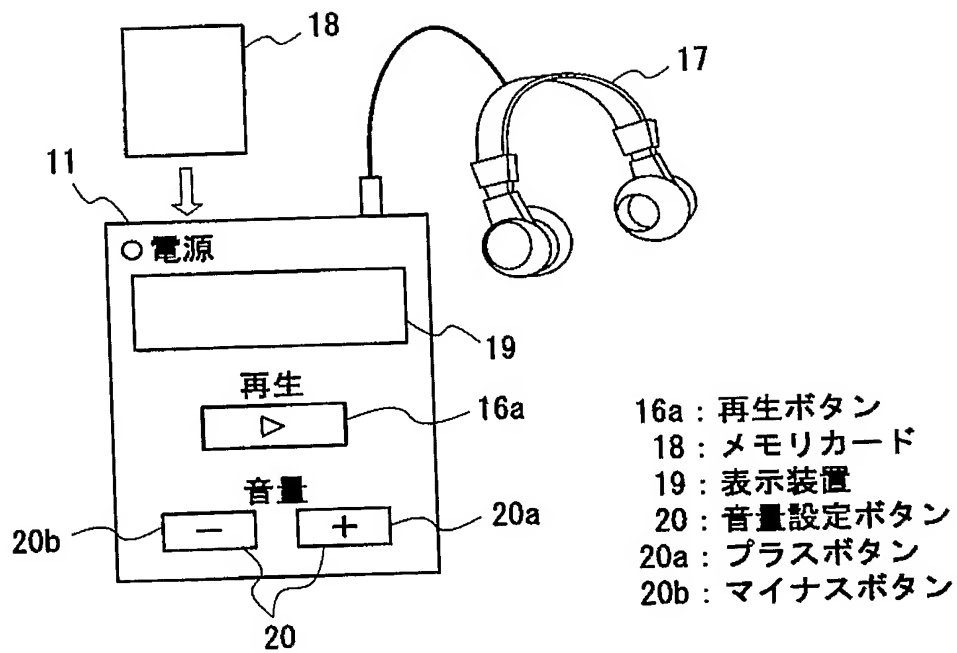
【図 2】



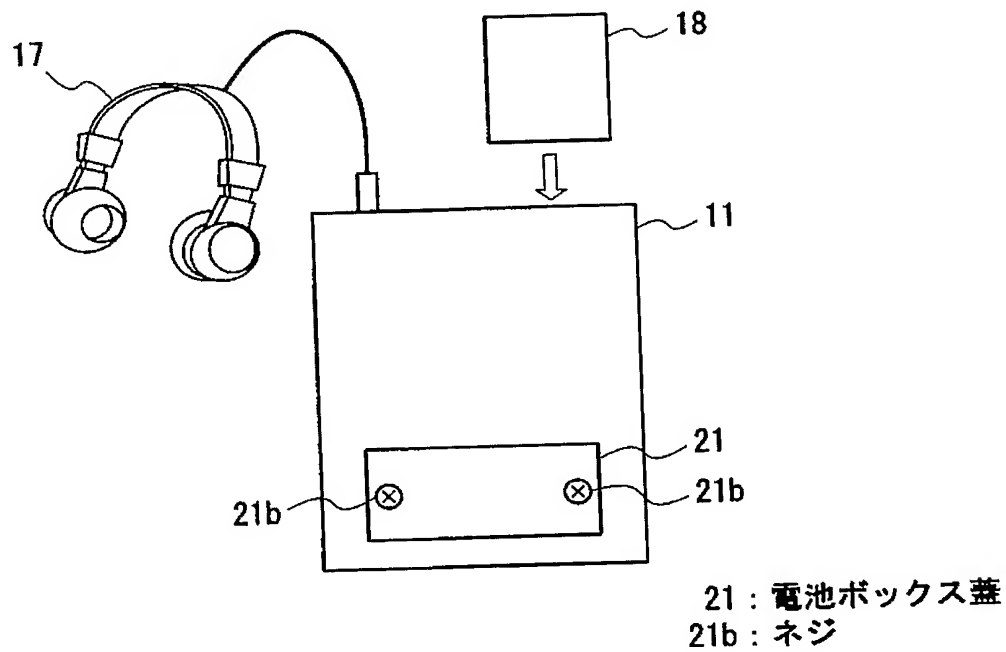
【図 3】



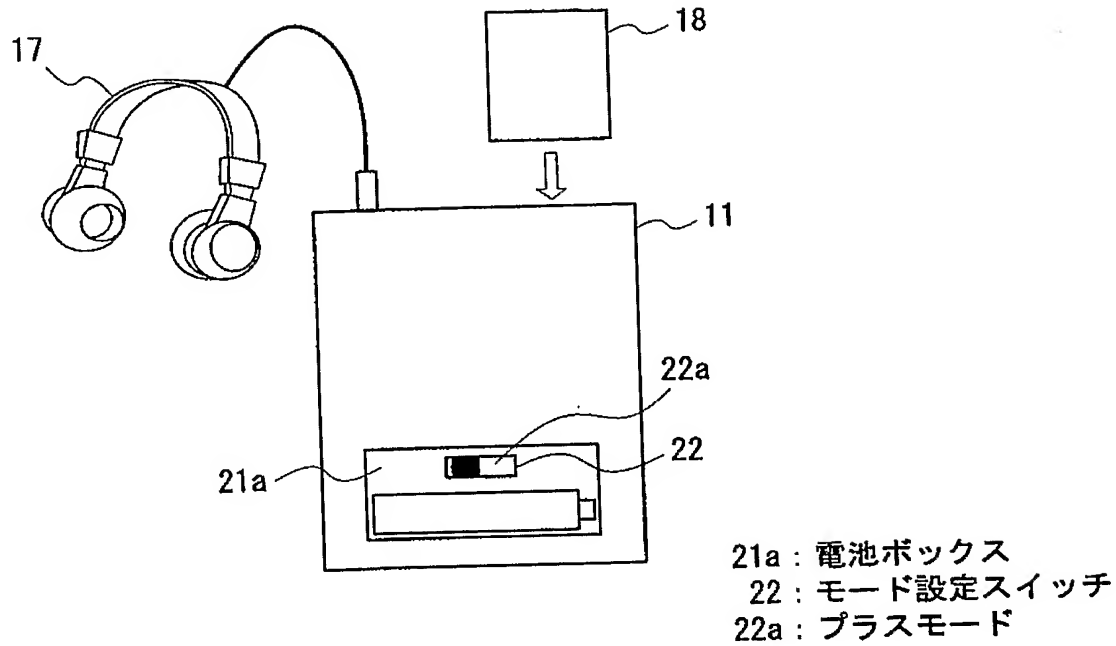
【図 4 (a)】



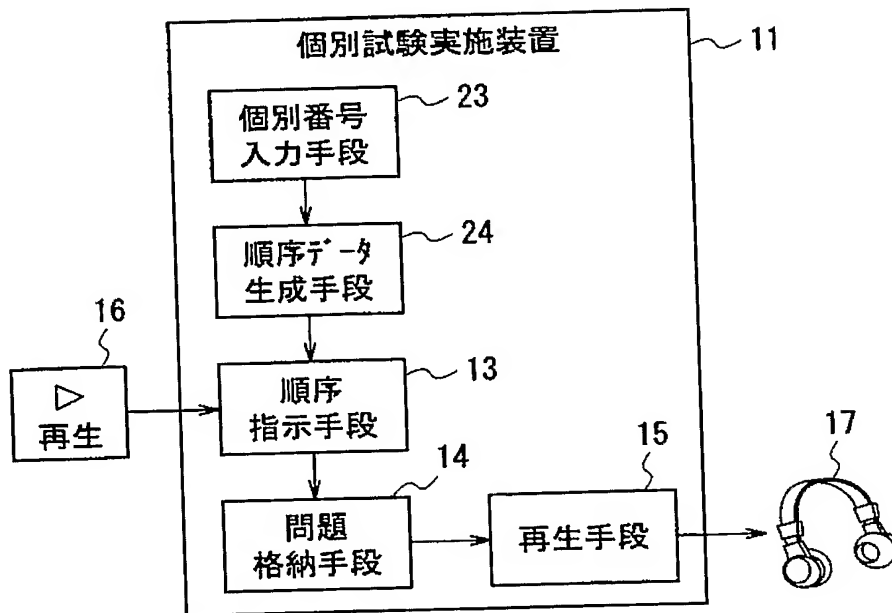
【図 4 (b)】



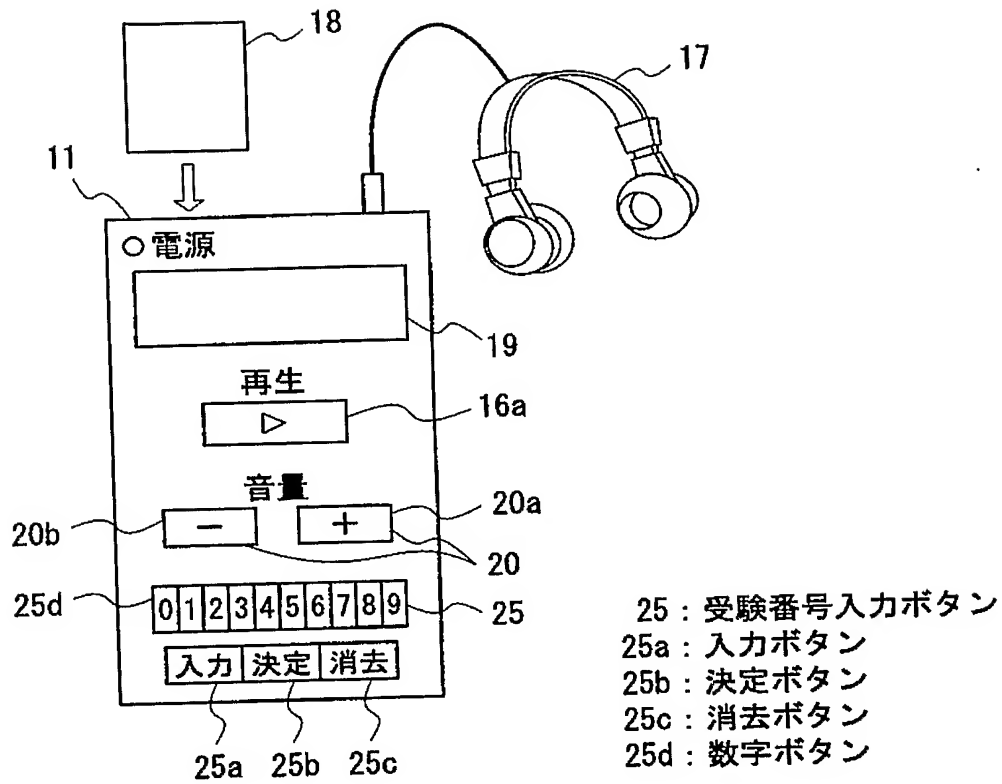
【図 4 (c)】



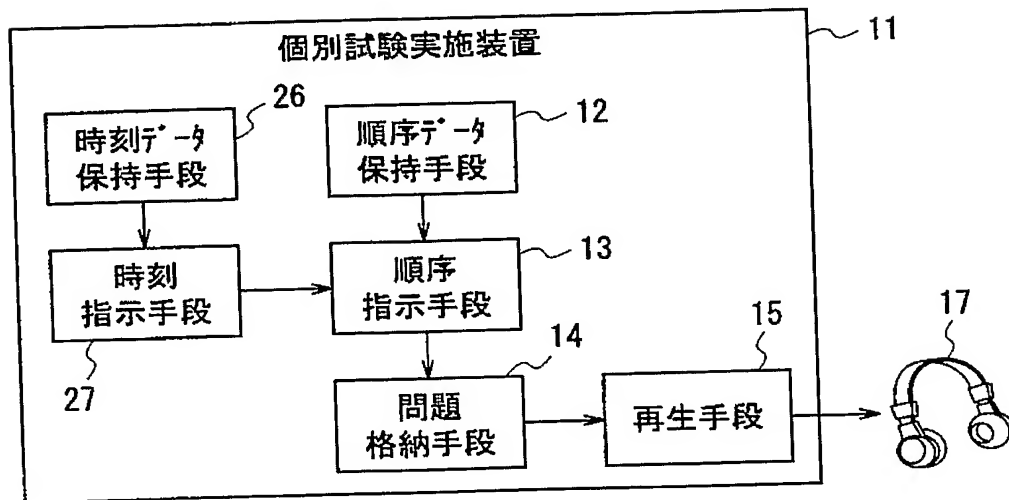
【図 5】



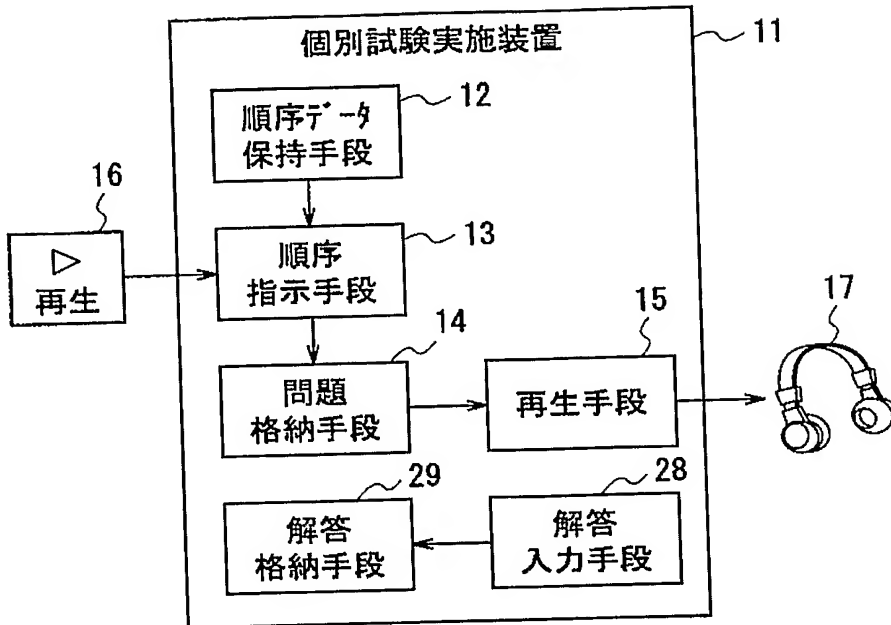
【図 6】



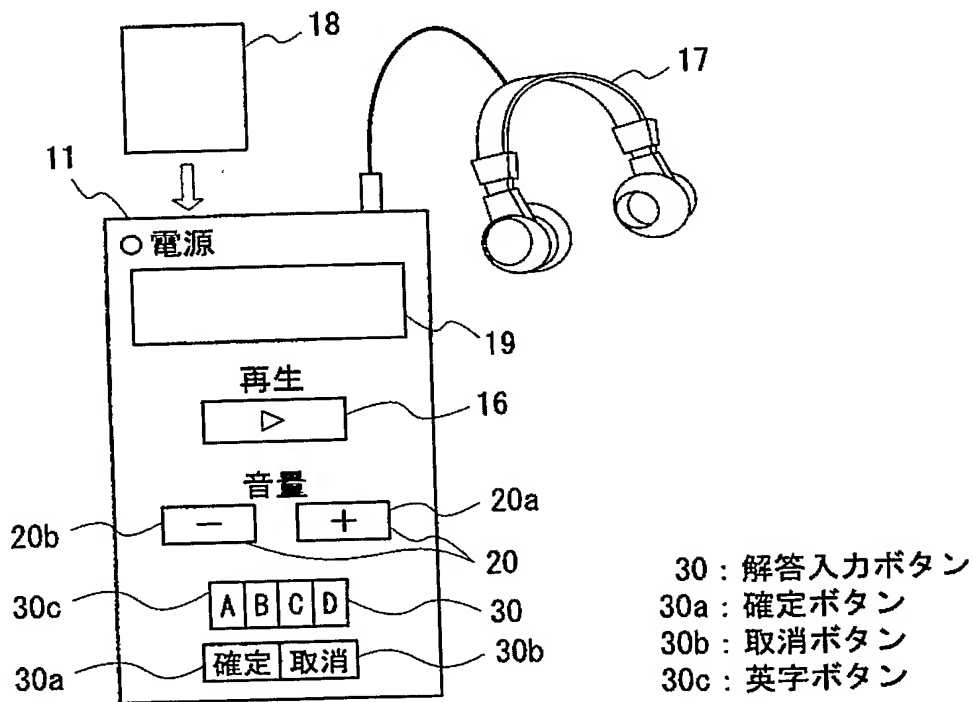
【図 7】



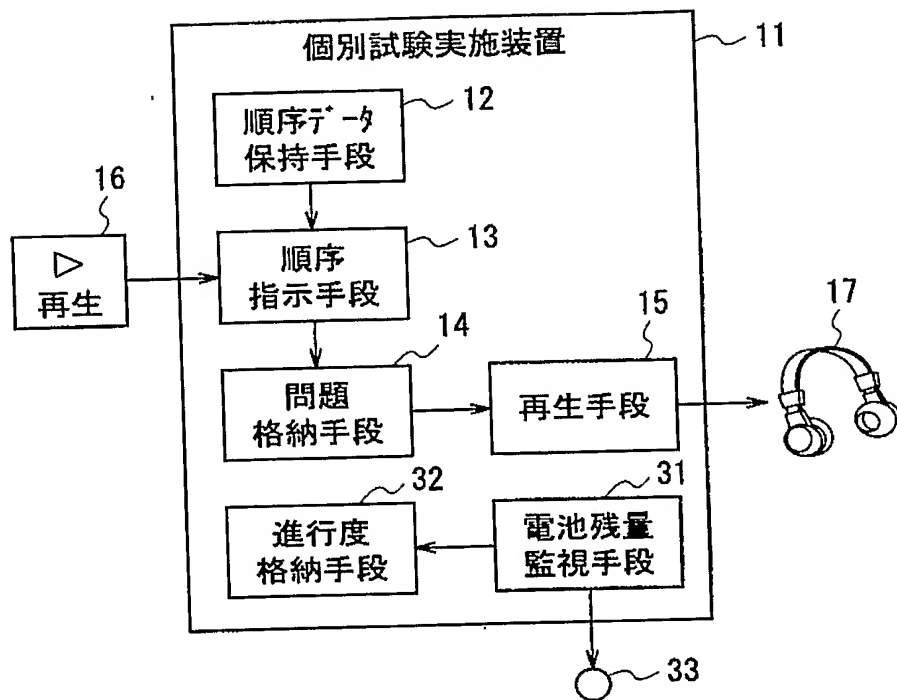
【図 8】



【図 9】



【図 10】



33 : 警告ランプ

【書類名】 要約書

【課題】 個別の装置を用いて、同一試験問題を同一順序かつ同一タイミングで解答していく試験において、不正行為を防止する。

【解決手段】 試験問題を格納する問題格納手段 14 と、試験問題の再生順序の基準となる順序データを保持する順序データ保持手段 12 と、問題格納手段 14 に格納されている試験問題を読み出す順序指示手段 13 と、問題格納手段 14 に格納されている試験問題を音声に再生する再生手段 15 とを備え、順序指示手段 13 が、問題格納手段 14 に格納されている試験問題を、順序データ保持手段 12 で保持されている順序データを基準にして読み出し、座席の位置に応じて試験問題の再生順序を入れ替える。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 4 - 0 8 6 0 2 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社